

# 未来

郵政産業ユニオン  
**PIWU**  
全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙 「みらい」  
NO. 4213  
21年12月28日(火)  
Tel・Fax 095-828-1953

# この一年を振り返る

おはようございます。  
本紙「未来」は本号が今年最後の発効となります。  
この一年、ご愛読いただき、大変ありがとうございます。

そこで、恒例ですがこの一年を振り返ります。



第一です。郵政ユニオン長崎としては、この三月に和解した郵政長崎の労働契約法二〇条裁判の勝利的和解が一番です。原告四名が提訴し、昨年二月に始まった非正規の契約社員差別の解消について、郵政が格差を認めて損害金を原告に支払ったことです。

原告団四名は、額の多寡ではなく、郵政が、「今後とも期間雇用社員の待遇改善に真摯に努める」と約束をしたことを評価しました。支部も、今後とも、非正規の期間雇用社員などの格差是正の復権をたかひ続けます。

二番目では、十月に行われた総選挙での敗北です。選挙は、前例のない野党共闘を組み、小選挙区での圧勝を目指



しました。これが野党共闘に敗因があるわけではなく、自民党が、安部の疑似政権の菅首相を引きずり下ろし、目くらまし的な岸田首相の表面的な「和解」路線をとったことで支持率を上げたことです。

さらには立憲、国民、社民、共産、れいわの統一を、「立憲共産党」と批判する反共攻撃に、野党が負けたからです。わけても、連合の芳野新会長が選挙直前に、「統一に不快感」を表明し、統一選挙闘争の足を引つ張ったことです。次は来年七月の参議院選挙をたかひ続けます。

しかし、野党共闘は安部の菅の国家主義政権を退陣に追い込んだことも事実です。これは大きな出来事です。一歩前進・半歩後退の政治の歴史を、働く人の目線で、働く人のための政治に変える努力を続けます。

三番目では、世界に最も影響があるアメリカ大統領選挙

にトランプが敗北し、バイデンが新大統領に就いたことです。トランプはアメリカ第一主義の国家主義ですが、最後は選挙結果すら認めない暴挙に出て、議会襲撃というクーデターまがいの暴動は、許されぬものでした。さらにバイデンは、富裕層の増税を掲げ、新自由主義からの決別を宣言したことは大きい出来事でした。

四番目は、やはり三年目に入るコロナ禍です。新たなウイルスの感染症は三十年おきに起こると「ウイルス感染症の世界史」で石弘之さんは書いています。未発見のウイルスは数十万種もあるともいいます。人類史はこのウイルス



の攻撃から辛くも生き残った人の子孫だともいいます。これからも防衛で、自身の身を守っていかなくてはなりません。

それとともに、地球温暖化での猛暑、化石燃料での環境破壊、汚染などで災害も多発しました。地震とか火山とかの自然現象はともかく、人が

自らの生産活動などで解決できるものは、人と企業の努力が必要です。



四十五億年の歴史がある地球を、人類はわずか二百年の産業革命以降の生産活動環境破壊で、その寿命を終わらせるかもしれない。その現実を理解し、しっかりと全世界的な対応が求められます。

五番目です。その一方で、スポーツの世界では、大きいニュースも多かった年でした。

第一は大谷翔平選手のMVPです。投打の二刀流の活躍は、アメリカ大リーグでも百年ぶりの歴史を塗り替える最高の活躍で、称賛される選手でした。

次が、ゴルフの松山選手のマスタース優勝でしょう。ゴルフをやらな人も、喜んでください。さらには大坂なおみ選手が昨年の全米オープンテニスに続き、今年2月の全豪オープンテニスでも優勝したことは特筆すべき快挙でした。



最後ですが、十月の支部大会で十年間支部長を務められた高口美和子さんが退任され、山田武明さんが支部長に就かれました。ご苦労様でした。

郵便労働者は年末年始もな、超繁忙で、大変、ご苦労様です。ではよいお年を。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。めげず、均等待遇、なごう差別！ ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！